



クラス通信



木田幼稚園
令和6年3月号

園庭の蜂須賀桜が咲き始め、「先生、桜が咲いてるよ！」「桜咲いたら1年生、だね！」春の訪れを感じています。早いもので入園・進級してから1年が経とうとしています。一人でできなかったことができるようになる、お友達と協力して取り組む、自分の思いを自信をもって発表する、お子さんそれぞれが大きく成長した1年となりました。

☆マラソン大会

7日（木）、天候にも恵まれ、温かい日差しの中マラソン大会を行いました。
1月から取り組んできたマラソンですが、最終月はきりん組3周（150m）、年少4周（200m）、年中5周（250m）、年長6周（300m）となりましたが、お子さん達は「先生、早くマラソンしたい！」「誰が一番上手に走れるかな？」と毎朝心待ちにしていました。
マラソン大会当日は理事長先生より、「今まで頑張ってきて、今日もがんばれがお友達にはメダルがもらえますから、頑張ってください！」というお話に大盛り上がり！マラソンだけでなく、他学年の応援も行い、園全体で取り組みました。
そして、ご褒美に金メダルをいただき、達成感を味わうことが出来ました。

☆第83回全国教育美術展絵画表彰式

13日（水）に絵画表彰式を行いました。本園は愛知県教育委員会賞を、個人賞は特選2名、入選10名、佳作1名が受賞し、凛々しい姿で表彰を受ける姿は感慨深いものでした。次年度も絵画活動を精いっぱい取り組む意欲を高めました。
受賞した皆様、おめでとうございます。

～1年を振り返って～

☆ほし組

入園当初はピカピカの制服、ランドセルを背負って少し不安げに登園していたお子さんも今では少し小さくなった制服を身にまとい卒園式のリハーサルに取り組む姿に、時が経つ早さを実感しつつお子さんが大きく成長した姿に心を打たれる毎日でした。
将棋にそろばん、日舞に書写文字…。沢山の経験を通してできること、好きなこと、やりたいことが増えたことで自信に満ちた表情が見られるようになりました。
個性豊かな21名のお子さん達。どの活動も喜びを感じながら取り組む事が出来る姿はとても素敵です。時にはつまづいたり失敗することで涙を流していたお子さんも今では「できた！」「もう1回やる！」とくじけない強い心を持って挑戦することができるようになりました。

4月からはいよいよ小学生。新しい友達、教室、先生…。「早く小学生になりたい！」と

いう思いが日々の会話の中から聞こえてきますが、ワクワクの中にも不安・緊張でいっぱいのお子さん達。元気一杯で好奇心旺盛で、キラキラ輝く笑顔が素敵な皆さんなら大丈夫！木田幼稚園で学んだことを胸に、小学校生活を楽しんで下さい。幼稚園から皆さんのことを応援しています。



☆ペンギん組

朝夕の冷え込みがまだまだ続き、春の訪れが待ち遠しい今日この頃、ペンギん組に進級して1年が過ぎようとしています。進級当初は、新しい教室での環境の変化に戸惑い、不安な気持ちと新しい活動への期待いっぱいだったお子さん達。

友達との遊びの中で自分の意見を優先し、トラブルになることもありました。

学園まつり、音楽発表会など一つ一つの大きな行事を経験し友達と一緒に行事を達成する楽しさを味わいました。先日、日本舞踊、将棋、お茶のおけいこの見学をしたお子さん達。「畳のへりは踏まない！」「日本舞踊楽しみ！」「将棋の駒の並べ方を覚えたよ！」と進級後の活動への意欲満々です。来年度取り組む新しい活動を通してそれぞれが自分の好きなことを見つけて目標を持って取り組めるよう願っています。

保護者の皆様には1年間ご協力いただき、本当にありがとうございました。



☆りす組

4月当初は「早く帰りたいよ」「これ出来ないよ、先生やって下さい」という言葉が行き交っていたりす組の教室。今では、「今日はお当番だから頑張る！」「先生、お手伝いしたい！」という嬉しい言葉があふれています。

そして「もうすぐペンギん組になるんだ！」とどのお子さんも進級を心待ちにしています。

体育発表会・学園まつり・音楽発表会と大きな行事を1つ経験する毎に一人ひとりに自信がつき、最後の音楽発表会では大勢のお客様に見て頂くという事を楽しみにし、又クラスとして一致団結して当日に臨む事が出来ました。

お友達を思いやり、進んで手助けが出来る優しいそしてとっても心の強いりす組さん。進級後の活躍も楽しみにしています。

保護者の皆様 この一年間本当にありがとうございました。



☆きりん組

お子様達の初めての社会生活一年間が終わろうとしています。入園に伴いご家族から離れ教師やお友達と過ごすことに親子共々、緊張や不安を持たれたスタートだった事と思います。

年齢的にも、まだまだ甘えたくて、涙したり、ぐずったり・・・「抱っこ」や「おんぶ」で過ごした毎日。

そんな日々の中で食事・排泄・衣服の着脱・身の回りの整理整頓・・・等の基本的生活

習慣の自立に向けて1つ1つを教師と一緒に繰り返し身に付けてきました。

園生活の中で様々な事を体験しながら自分で行う喜びや満足感・教師や友達と一緒に過ごす楽しさを感じ、友達とのかかわりを通して自分の思い通りにはならない我慢や悔しさも覚え、相手を思いやる優しさを身に着け・・・どのお子様も身体だけではなく心も一年前とは見違える程に大きく成長しました。今年度のきりん組は明朗活発なお子さんが多く毎日をにぎやかに過ごし、教師も毎日数えきれない程の喜びや笑顔をお子様達から頂きました。

お子様達の純粋無垢な心や笑顔に触れ沢山の思い出を紡ぐ事が出来ました事を、お子様達・保護者の皆様に感謝しますと共に来年度のさらなる成長を願っています。

